

子育て支援ひろば「わいわいひろば」における学生の学び

作新学院大学女子短期大学部 幼児教育科 2年
高橋あかり、郡司雅由美、君島美紅
鈴木明香里、手塚彩夏、鈴木琴音

子育て支援「わいわいひろば」



▲模擬保育室の開放(学生とあそぼう)の様子

平成25年度秋より未就園児のお子様と保護者の方にご参加いただける

子育て支援「わいわいひろば」

を開催しております。平成29年度から、月2回開催となりました。

本学では、保育者を目指す学生向け教材として、たくさんの玩具を準備しておりますので、地域のお子様方にもご活用いただき、遊びを広げる機会としていただけましたら幸いです。

また、本学幼児教育科学生が授業で製作した“手作りおもちゃ”も多数ご用意しておりますので、お気軽にご参加いただき、親子で楽しいひとときをお過ごしください。

なお、キャンパス内の食堂や図書館を利用して頂くこともできます。ごゆっくりとおくつろぎください。

【結果】

アンケートの結果（一部）は、以下のとおりである。

- ・子どもの姿を観察することで、実際の子どもの姿を知ることができ、実習へと繋げることができました。また、自分たち学生が計画して、実践してみると配慮すべきことが明確になり、学ぶことができました。そして、子どもたちがとても可愛くて、癒されました。
- ・0、1、2歳児の発達や遊びかたや好きなおもちゃなどがわかりとても勉強になる子供たちがとても可愛くてまた参加したい！
- ・0～3歳までの子供たちだったので、保育実習前に経験出来て、その後の実習ではわいわい広場での経験を活かすことが出来ました。
- ・保護者もいるので、保護者の方と話したりすることで、将来保護者と話すための練習になりました。
- ・保護者の方から子どもの様子などを聞く貴重な経験ができてとても良かったです。また、子どもが興味を持っているおもちゃなどを知ることができて良いです。
- ・実際に子どもと触れ合うことができ、保護者の子育てなどの話を聞くことができました。
- ・子どもの興味のあるおもちゃや、実際の子どもの姿に関わりや観察を通して学ぶことができること。
- ・実習ではあまり保護者と関わる機会がないので、わいわい広場に参加している保護者とコミュニケーションを図ることができること。
- ・実習以外で関わるのが難しい乳児と関わるのが良いなと思いました。また、興味・関心のあるものを知ることができ、保育者になるときに活動を考える時などに役立つと思いました。月齢の差を間近で感じることができ、育児の大変さを学ぶことができました。
- ・子どもたちが何に興味関心があるのか、保護者の方と子どもがどのようなコミュニケーションをとっているのか観察することができました。また、授業で学習した年齢に応じた発達段階も観察し、それに合わせた声かけや関わりを実践できました。

5月9日(木)	<内容>学生企画 音楽と触れ合おう
5月16日(木)	<内容>学生企画 音楽と触れ合おう
6月13日(木)	<内容>学生企画 音楽と触れ合おう
6月27日(木)	<内容>管理栄養士による食育講座 「夏のおやさいのおはなし おやさいのまぜまぜ～おやつワークショップ」
7月11日(木)	<内容>模擬保育室の開放(学生とあそぼう)
7月18日(木)	<内容>ママ企画 親子フィットネス <持ち物>バスタオル、上履き、飲み物
9月18日(水)	<内容>模擬保育室の開放(学生とあそぼう)
10月4日(金)	<内容>模擬保育室の開放(学生とあそぼう)
10月25日(金)	<内容>ママ企画 親子フィットネス <持ち物>バスタオル、上履き、飲み物
11月1日(金)	<内容>模擬保育室の開放(学生とあそぼう)
11月28日(木)	<内容> 学生企画 子育て支援イベント(手作りおもちゃがいっぱい)
12月13日(金)	<内容> 管理栄養士による食育講座 「噛む力を育てよう!噛む育!～手作りふりかけでモグモグおにぎりワークショップ～」
12月20日(金)	<内容>模擬保育室の開放(学生とあそぼう)
1月10日(金)	<内容>学生企画 児童文化財を親子で楽しもう
2月21日(金)	<内容>模擬保育室の開放(学生とあそぼう)



わいわいひろばの様子

学生企画☆子育て支援イベントを実施します！

作新学院大学女子短期大学部幼児教育科2年生(136名)が、授業「乳児保育Ⅱ」の一環として、地域のお子様(0~3歳児)と保護者の皆さまに向けた子育て支援のイベントを開催します。
0歳~3歳の発達の特性に配慮しながら、身近な素材を活用し、たぐいまれなおもちゃを製作中です！
楽しい企画をたくさん用意して、皆様のお越しをお待ちしております。ぜひご参加ください♪

今年は、
こーんなにたくさんの
手作りおもちゃが
一気に勢ぞろい！！



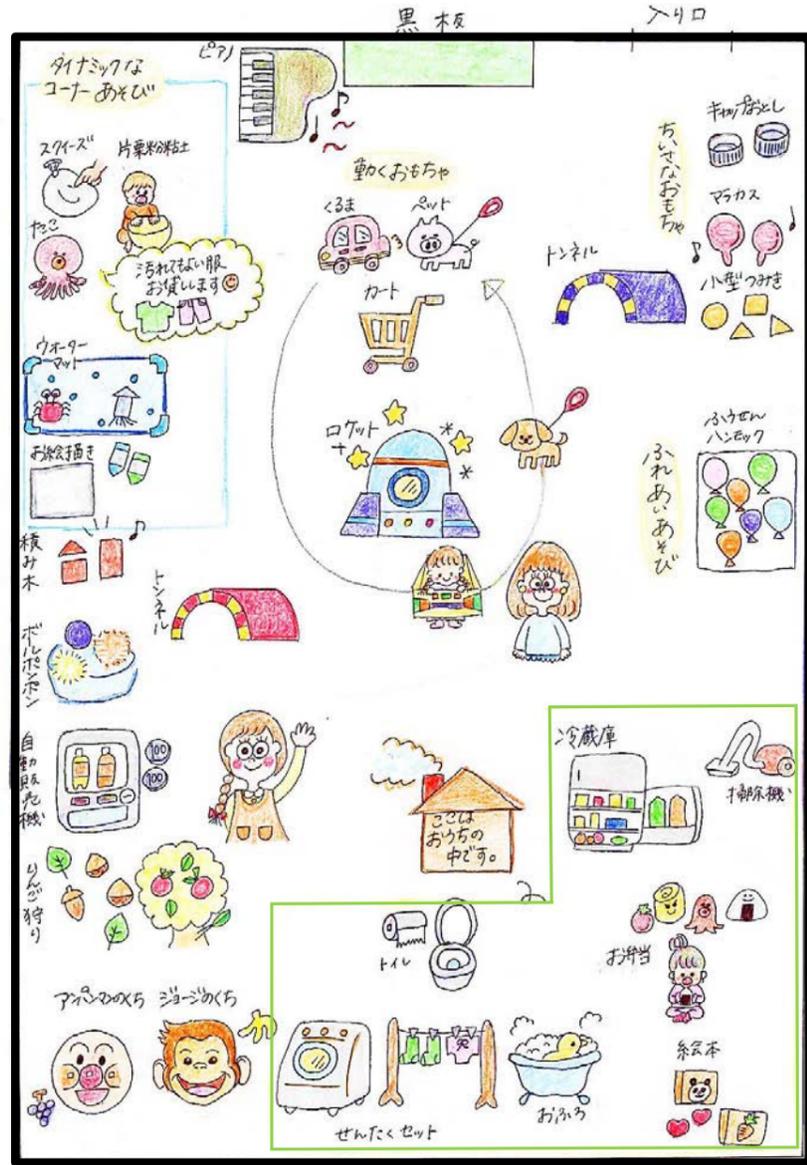
▲折りたみ式牛乳パックトンネル。
どんな遊びに発展するかは、
当日のお楽しみ♡



▲おもちゃは全部、身近な素材
で作っています。



▲昨年度の様子。
「どれが、きになるかな？」



※オムツ交換&授乳室は、別室をご用意しています。いつでも学生スタッフに、お声かけください。学生スタッフの目印は、エプロンです！



▶パパ・ママの「まねっこ」と、「本物」がだいすきな子どもたち。このおうちコーナーでは、おうちにある〇〇を、本物そっくり再現して手作りしてみました！

絵：鈴木琴音、櫻岡玲奈

2019年11月28日(木) 9時15分~14時15分

対象：地域のお子様(0~3歳児)と保護者の皆様
会場：作新学院大学女子短期大学部第2体育館1階プレース
(宇都宮市竹下町908番地)

持ち物：飲み物、保護者の方の上履き

※入場無料・駐車場も完備しております。(正門の守衛室にお声かけください。)

※ダイナミックな遊びができるよう、汚れてもよい服装でお越しください。

※学生の学びや保育学研究のため、活動中のようすの記録写真を撮らせていただくことがあります。

お昼は、学食を利用できます。

▶1時間に1回、歌とダンスも行います。みんなが大好きな歌で、一緒に、盛り上がりましょう！



科目担当者：作新学院大学女子短期大学部 准教授 穴戸良子



準備の様子



改善点・失敗談

- ・もう少し大きさを大きくし、木の部分を丈夫に作れたら良いと思いましたが、素材も足りていない様子だったので、木の部分を紙で補いました。(果樹園コーナー)
- ・段ボールの上の部分が、少しだけ凹んでしまったので改善が必要だと思いましたが、(果樹園コーナー)
- ・中の段ボールがはじいて、少しだけ空気が入ってしまったので、紙で補いました。また、100均のテープに合うテープがないので、100均のテープで補いました。(100均)
- ・ゴボウの目は立てると高さが高すぎて子どもが引かなくなるとのサイズを調整するつもりでしたが、(ゴボウ)
- ・板が動いてしまっていたので固定しておく必要だと思いましたが。(ゴボウ)

感想

最初は子ども達が来てくれるのが楽しく遊んでもらえるのが大変でした。でも、多くの子ども達が「お母さんと一緒に遊ぶのが楽しかった」と言ってくれて、嬉しかったです。子ども達の声の中には、「これはおもちゃー!!」という元気な声や、「ゴボウの畑を掃除機のように動かすおもちゃ、予想外の音も聞こえてきた。予想外の音が聞こえてきたのでとても良い経験になりました。」

イベントのふりかえり